

よもやま話に花が咲く。えきんぐらがお届けする小ネタ袋。

蔵通信 三六号

2013.11

発行：絵金蔵運営委員会
発行日：2013年11月30日
〒781-5310
高知県香南市赤岡町538
Tel.Fax 0887-57-7117
ekingura@mxl.netwave.or.jp
http://www.ekingura.com/

シリーズ
絵金蔵百話
第三十五話 決死の誓い



INFORMATION



高知県内で伝統芝居の伝承活動を行う四団体の新春公演。かつて大衆娯楽の中心であった歌舞伎は県内各地で盛んに行われていたが、現在ではこの四団体を残すのみとなりました。香南市赤岡町からは、「絵金歌舞伎伝承会」が出演します。地芝居ならではの味わいを、この機会にぜひお楽しみください。

出演及び演目
土佐絵金歌舞伎伝承会
「義経千本桜 道行初音旅」
高野歌舞伎保存会
「三番叟」
八代青年団(八代農村歌舞伎)
「恋飛脚大和往来 梅川忠兵衛封印切」
西畑人形芝居保存会
「傾城阿波鳴門」



日時 平成26年1月11日(土)
午後1時 開演 午後1時30分
会場 グリーンホール
チケット 【前売】一般1,000円【当日】一般1,500円 全席自由
販売所 県民文化ホール(088-824-5321) 高知プレイングガイド(088-825-4335)
県立美術館ミュージアムショップ(088-866-8118) ほか
主催 高知県立県民文化ホール
お問合せ 高知県立県民文化ホール TEL 088-824-5321

EKINGURA
one-year
passport



お得な年間パスポート
販売中です。

1年間何度でも入館可能、その他、さまざまな特典あり。詳しくは絵金蔵HPをご覧ください。

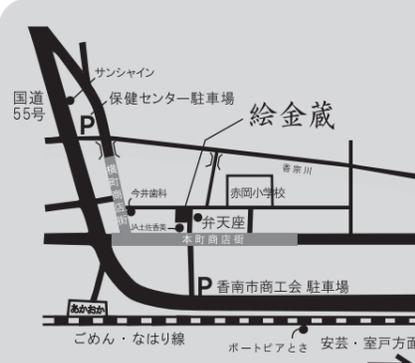
まちの素敵を探して、歩いて。

★町歩きカバンをお貸しします★
参加方法 絵金蔵受付にて参加受付。受付表に名前を記入し、町歩きセット一式が入ったカバンをお受け取りください。
※ 荷物預りあり(無料)
受付時間 午前9時～午後3時半(絵金蔵開館中)
午後4時半までに絵金蔵にお戻りください
参加料 300円(ラムネ代込み)
お問い合わせ 絵金蔵 TEL.0887-57-7117
※ 団体の場合は要予約



あかお
カルタで
町歩き

【絵金蔵】
閉館時間 午前9時～午後5時
(入館は午後4時半まで)
観覧料 大人500円、高校生300円
小・中学生150円
(15名以上の団体は各50円引き)
休館日 毎週月曜日
(月曜が祝日の場合は火曜)
12月29日～1月3日



幕末土佐の芝居絵師・金蔵(通称・絵金)。彼は土佐各地の祭礼に多くの芝居絵屏風を残しました。絵金蔵は、平成17年2月、赤岡の地に残る23点の芝居絵屏風を収蔵・保存するために作られた施設です。

絵金蔵の三つの使命

- 年に一度 絵金の文化を守るため
- 伝承 次の世代へ 伝えるため
- 縁結び 地域を超えて 世代を超えて

絵金屏風掲載

小学館『日本美術全集 16 巻』が
発行されました。



このたび小学館より発行された『日本美術全集 16 巻 激動期の美術』のなかで、当館収蔵の芝居絵屏風 2 点と、香美市・八王子宮所蔵の手長足長絵馬台が紹介されています。本格的な美術全集で絵金が紹介されるのは、今回が初めて。従来の美術の範疇にとられない、様々な分野の作品 180 点が、ページをめくるごとに生き生きとした時代の息吹を伝えてくれます。

日本で初めての本格的な油画、江戸時代から続く伝統絵画、石版画、書、写真、超絶技巧を凝らした工芸、建築も網羅された一冊、幕末から明治維新を経て、東京美術学校が開設されるまでの激動期の美術を堪能できます。

全国の書店にて発売中、ぜひ手に取ってご覧ください。



日本美術全集 16 激動期の美術
著 / 山下裕二 定価 15,750 円 (税込)
発行 / 小学館 発売日 2013/10/25
B4 判 / 296 頁

<https://www.facebook.com/nichibi.shogakukan>



絵金百話

第三十五話 決死の誓い

はこねれいげんいざりのあだうち たき だん
箱根靈験雙仇討 滝の段

< 概要 >

『箱根靈験雙仇討』は享和元年（1801）年8月、時代物の人形浄瑠璃として初演されました。興行場所は不明ですが、翌9月には京都・亀谷座で歌舞伎に移され、その人気ぶりがうかがえます。

本作の元となった実録本には、大阪築城の際、飯沼勘平が同僚の加藤幸助に討たれ、勘平の息子・初五郎が8年間苦勞した後、不自由な身で神の加護を得て箱根山中で仇討を果たした事件が描かれています。作者であり、講釈師でもあった司馬芝叟は、こうした実録によりつつ、クライマックスの仇討では本人よりも、その妻の存在感を大きく脚色しています。この滝の段では夫に懸命に尽くし続け、最期には夫に代わり仇を討とうとして返り討ちに遭いさらに亡霊となってまでも夫の仇討ちを成就させる烈婦・初花の貞節が主題となっていて、同じく芝叟作『花上野誉石碑』の乳母、お辻のキャラクターを彷彿とさせます。夫に尽くし、自己犠牲を惜しまず、意志を貫く美しい女性性は、時代を越えて男性が理想とする女性像なのかもしれません。

舞台となる箱根山は古くから山岳信仰が盛んで、箱根権現を中心とする修験の霊場として栄えました。江戸後期には湯治場として庶民の間でもブームとなり、本作に登場する「塔の沢」は現在も箱根七湯の一つとして知られています。

今回ご紹介するのは安芸市川北・大師堂に伝わる芝居絵屏風、安芸市は、芝居絵を飾る夏祭りの分布地のなかでは最も東に位置し、お堂の周辺は田園が広がるのどかな地域です。今も毎年、旧暦7月20日の夏祭りで飾られています。今回もどうぞお楽しみ下さい。

※今回掲載する浄瑠璃の題名や物語の中には、今日の観点から見れば不適切な表現が見受けられますが、原文及び作者の意図を尊重し、そのままの形でご紹介いたします。

参考文献：『日本伝奇伝説大辞典』角川書店、1986年10月

蔵でジャズ Vol.5

‘Kuni Mikami at 弁天座’ 開催報告

開催日：平成25年11月9日(土)
場 所：弁天座（香南市赤岡町）
主 催：絵金蔵運営委員会



絵金蔵主催、五度目となるジャズコンサート、例年ツアーに来て下さる「クニミサト」さんのピアノジャズライブを、今回は初めて芝居小屋・弁天座で行いました。和の空間に違和感なく溶け込む三上さんの旋律、カウンターパートの効果もあってか、お客さんもとてもしラックスして聴いて下さいました。ご感想を、いくつかご紹介致します。

- ・演奏者の距離が近く、めっちゃめっちゃいい（高知市28才女性）
- ・ピアノも鉄琴もドラムも音色がやわらかくて心地良かった。最後のスウィングはどんどん音が熱くなっていった。お客さんのリクエストのつなぎ方が素敵だった。場所と企画がマッチしていて素敵な町おこしだと思う（香南市29才女性）
- ・駐車場から会場までの道のりからロウソク、古い街並み、きれいな照明の弁天座と、楽しい工夫があった。初めて弁天座に来たが、こんなエンターテイメントをゆっくりと豊かにみせてくれる会場とはつい知らず、今まで足を運ばなかったのが残念。とても素晴らしい空間で、三上さんのMCもおもしろく、また来たいと思う（香美市男性）





討仇雙駿靈根箱 主人公の眠る場所



夫婦が互いをいたわり合い、耐え難い苦
 勞を乗り越えて敵討を果たす、「いざり
 勝五郎」と「初花」の物語。近年まで多く
 の庶民に愛され、浄瑠璃、歌舞伎のみな
 らず、講談や映画、大衆演劇から、お座
 敷の余興にまで登場しました。浮世絵で
 は、初花が白滝で水垢離を取る場面を
 歌川国芳や三代豊国、月岡芳年らも描
 いています。

勝五郎と初花の墓があるのは、神奈川県
 県足柄下郡箱根町・鎖雲寺。境内には
 初花の坐像を祀る、初花堂が建てられ
 ています。

箱根靈駿雙仇討 土佐に広がる物語

次ページにご紹介する芝居絵屏
 風の他にも、高知県下各地に同
 じ場面を描いた作品が残されて
 います。全て作者は異なります
 が、人物のポーズや配置を変え
 て個性を表しながら、物語をよ
 く踏まえて描かれています。

芝居好きの土佐人の血を湧かせ
 た、人気の演目だったようです。



南国市・河泊神社



須崎市・八幡宮

白描画「飯沼勝五郎と滝口上野」
 香南市・個人蔵



今年も本物の地元銀行員がこの祭りのみで
 使える一両小判(100円)を発行。お奉行様
 や町娘の扮装で、楽しんでいました。



11月30日・12月1日

冬の夏祭り

第19回



今年も「冬の夏祭り」が横町商店
 街で行われ、普通のまちを思い
 きり楽しむ老若男女で通りはあふ
 れ返りました。中央には、いつも
 路上こたつ。バナナの叩き売りがい
 るかと思えば、石臼で大豆を挽く豆
 腐屋があり、手作りのアクセサリー
 を売る若者、ギヤラリーになった町
 屋：昔と今、日常と非日常が一体に
 なる不思議な祭りは、来年で二〇回
 を迎えます。

赤岡の冬の風物詩となった「冬の夏
 祭り」。ブログもぜひご覧ください。

冬の夏祭りブログ：http://fuyu-natsu.com/about_us.html



ふいにはじまる路上ライブ

赤岡絵金屏風 修復・保存のための チャリティバザー 実・施・報・告

ご寄付いただいたレトロな生地や、ボタン
 を使った、手作りのチャリティグッズは、普段
 の絵金蔵グッズコーナーでも販売していま
 す。ぜひのぞきにいらしてください。



冬の夏祭りに合わせ、今年もご寄付
 いただいた食器や雑貨、衣類などを販
 売するチャリティバザーを開催しました。
 売上は全て、所蔵家のグループ「赤岡絵金
 屏風保存会」に寄付いたしました。ご協力
 いただいた皆さまに、この場をお借りし
 て心より御礼申し上げます。

当館が寄託を受ける絵金の屏風絵は、一五
 〇年の時を経て、傷みが見受けられるよ
 うになりました。今後全ての作品の修
 復を目指し、保存会と共にこうしたバザ
 ーや、グッズの製作・販売募金活動など
 行なって参ります。どうか今後とも、ご協力
 賜りますよう、お願い申し上げます。

絵金を読む。

箱根靈驗躰仇討 滝の段

二曲一隻屏風/紙本着色/162.0×179.2cm
安芸市川北・団体所蔵

— あらすじ —

桃山城築城奉行の配下・佐藤剛助は、同僚・飯沼三平を殺し、宝剣を奪って北条氏政の元に身を寄せ、滝上野と名前を変えた。三平の弟・勝五郎は兄の敵を討つため、北条家の家臣・九十九新左衛門の下僕として奉公するうちに、その娘・初花と夫婦となった。

しかし、美しい初花は上野に横恋慕され、その迫害により新左衛門は切腹、勝五郎と初花は奥州を流浪することとなる。旅の途中、病で足が不自由となり、乞食に身を落とした勝五郎は、兄の下僕であった筆助、初花と共にいざり車に引かれながら箱根へと旅立つ。

箱根で北条家の非人施行があると聞き、敵の手がかりをつかもうと立ち寄った夫婦の前に上野が現われる。夫婦は上野に立ち向かうが、上野は捕らえた初花の母・早蕨を人質に初花を自分のものにしようとする。母と夫の命には代えられず、初花は上野に従う。

勝五郎と早蕨が嘆き、祈るところへ、突然初花が戻り、箱根権現への祈願を遂げたいと塔の沢の白滝で水垢離を取る。すると、不思議にも勝五郎の病が癒えたが、初花は滝壺に消えた。その姿は実は幽霊、上野に討たれた初花は、夫を助けたい一念で、祈願満了のため現れたのだった。その甲斐あって、勝五郎は権現社前で敵討ちを成就させた。

物語る小道具 ～ 非人施行の立て札～

乞食や、社会の外に疎外された人々の救済を意味する立て札。しかしこれは滝口が二人をおびき寄せるための罠でした。

■ 段平ひらり。

滝口の命令に、すかさず幅広の段平刀をつきつける手下。

■ ソレ母親めから刺通せ。

勝五郎をさんざんはずかしめたりばかりか、母親まで人質に取り、さらに初花に「いやだと言へば、腰抜け共々斃り殺し、否か忘か」と迫る滝口上野。

■ おのれ兄の敵！

まんまと上野の計略にはめられた勝五郎。幾重もの恥辱を浴びせられますが、不自由な身では、ただ耐えるばかり…

物語る小道具 ～ いざり車～

病で足が立たなくなった勝五郎に、庄屋徳兵衛が餞別として与えた手押し車。「水薬判官」などの歌舞伎にも登場します。

■ マア待つて下さんせいなア。

夫と、今にも刺しつらぬかれようとする母を目前に「待つてはいよいよ抱かれて寝るか」と上野に迫られ、ついに「得心ぢやわいなア」と答える初花。

眼前母と夫の命、現在敵に肌ふれて
枕を交わす苦しみは、身は八つ裂きの刑罰と
思へば胸も張り裂けて…

「この辺りは山家ゆえ、紅葉のあるに雪が降る」
箱根山に着いた折、初花が勝五郎に語りかける名セリフとして名高い言葉。

この言葉通りの風景が、背景に描かれています。

中央の滝は、この物語の大事なポイント。初花が命を懸けて祈願を込めた、塔の沢の白滝です。

■ 縄目の猿轡。

人質に取られた初花の母・早蕨。泣く泣く上野に従う初花に「此母が身一つなら切刻まれても厭はねど、大切な婿殿に、代る其の身は手柄者」と、気丈にもその覚悟をたたえたのですが…



【参考文献】
『日本名著全集 江戸芸部』第28巻 1929年11月 日本名著全集刊行会
『歌舞伎事典』平凡社 1993年4月
『歌舞伎登場人物事典』白水社 2006年5月

『絵金 極彩の闇』grambooks 2012年10月
『絵金 土佐の芝居絵と絵師金蔵』高知県立美術館 1996年